

育 Me 科 学習指導案 「優しく断ろう」

○ねらい

相手にお願いをされたときに、相手に配慮しながら優しく丁寧に断るスキルを身に付ける。

	活動内容	進め方・支援	育 Me 科の視点
導入	<p>1 あいさつ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前時の学習内容「きちんとお願いできるかな」を確認する。 <p>2 学習内容の理解</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常生活の中で仲間からお願いをされた場面を振り返る。 ・教師によるモデリング <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>〈場面〉</p> <p>A:給食当番だが、昼休みに委員会の仕事も入っている。どうしても当番の仕事である給食の片付けができない。そこで同じ当番の仲間をお願いをする。</p> <p>B:断る</p> </div> <p>〈1回目〉ぶっさらばうに。理由も言わない。</p> <p>〈2回目〉曖昧な断り方だが、できない理由は伝える。</p> <p>〈3回目〉理由とともに、謝るなど相手を配慮した言葉を加える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「優しい断り方」のポイントを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【優しい断り方のポイント】 ①はっきり断る ②理由を伝える ③気持ち</p> </div> <p>3 本時のめあて</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>相手の反応に気をつけながら、優しく断ろう</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアで確認後、全体で確認する。 ・モデリングの3回を比較させる中で、「優しい断り方」のポイントを理解させる。 ・モデリングを1つ終えるごとに良さや修正点を全体で交流できると良い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「おかめのあいさつ」を用いる。 ・日常生活で、相手からのお願いを断ったとき、相手が困った顔をしていないか思い出させたい。
展開	<p>4 グループ活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1グループ3～4人で、順番に行く。(A:断る B:お願いする CD:評価者)1回行うごとに「優しい断り方」のポイントに沿って評価する。 ・配付した場面カードを机の上に裏返し、役割 A の生徒がカードを引き、書かれた場面に沿って役割演技をすう。 <p>※場面は指導案裏面</p> <p>5 全体交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体の場で提示した場面に沿って役割演技する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・名札を配布し、誰が役割演技をしているのか、どの役をやっているのか分かりやすくする。 ・ロールプレイ中「優しい断り方」のポイントを提示する。 ・場面カードを各グループに配付し、役割 A の児童にカードを引かせる。 ・お願いする役割は教師が行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・お願いする役割 B の児童は「きちんとお願いできるかな」のスキルを用いる。
まとめ	<p>5 ふりかえり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分が生活している姿を振り返り、「優しい断り方」ができているか考えさせる。 ・振り返りをワークシートに記入させる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【出口での児童の姿】</p> <p>「私はいつもぶっさらばうに断ってしまうから優しい言葉も入れながら、優しく断れるように気をつけたい。」</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・日常の自身の姿を児童に、もしくは教師が語りたい。 ・振り返りシートの配布 	